

小学校の部 最優秀賞 城辺小学校5年 粉川 実姫

四国防災八十八話 第59話 避難用の舟

「避難用の舟」を読んで

この話は「災害は突然起こる出来事だから日頃から備えておくことが大切だ」ということを、改めて強く感じさせられるものでした。

昔から、大雨が降るたびに川が氾らんして浸水被害を受ける大洲の話で、過去だけでなく、この夏の西日本豪雨災害でも、大きな被害を受けた所です。大洲で中学校生活を送っている兄から、宿舎が浸水したため、皆で助け合いながら不便な生活を乗り越えていった話を聞いたので、なお、身近に感じました。

この話に出てくる子がとった「父に代わって避難のために船を出した」行動は、とても立派だと思いました。このように命を守るためには、いざという時の判断力と行動力が重要です。でもそれは、自然と身に付くわけではありません。私は、判断力と行動力を身に付けるために、日頃の避難訓練が大切だと思っています。城辺小学校の避難訓練は、突然「緊急地震速」が流れたり、「この階段は通れません」の看板で、普段の避難路が使えなかったりします。素早く判断して行動に移さないといけません。様々な想定 of 避難訓練をくり返し行うことで、災害時によりよい判断と行動ができるようになるのだと思います。

私の家は、何か起こった時のための【物の備え】は、十分にできています。しかし、私自身の【心と体の備え】は十分だとは言えません。いざという時のために、自分の命を守る備えとして、これからも、学習と訓練などを通じて、心と体をきたえていきたいです。